

杉並区子ども・子育て行動計画進捗状況報告書(平成24年度)

個別事業については下記の基準で評価しています。

評価記号	数値での目標設定	「実施」	「充実」「拡充」「推進」
◎	目標を達成している (100%)	前年度の実施内容を維持 又は水準を向上して実施	前年度の実施内容 + 新たに実施するものが付加 されている
○	目標をほぼ達成している (80%~)	実施されているが、実施内容を 80%~に縮小(一部実施)	前年度の実施内容を一部 改善し、水準を維持している
△	前年度と同水準で推移している (50%~)	実施されているが、実施内容を 50%~に縮小(一部実施)	前年度の実施内容を維持し、 新たな内容(又は改善)に ついて検討が進んでいる
▲	目標に向けて取り組みを進めて いるが予定された水準に達して いない (30%~)	実施されているが、実施内容を 30%~に縮小(一部実施)	前年度の内容を維持している が、検討が進んでいない
●	事業の方針見直しに伴い 目標の変更等があった	実施見直し等による目標変更	実施見直し等による目標変更
×	突発的事象により目標達成が 困難だった	突発的事象により実施でき なかった	突発的事象により、縮小または 実施できなかった

推進プラン 1 仕事と生活の調和の実現を図ります

計画	事業名	事業内容	23年度	24年度		事業 達成度	26年度末 目標値
			実績	計画	実績		
1 保育園・学童クラブ の待機児童解消	1-1-1 保育園等の受入の拡大 (定員・・・弾力運営 含む)	老朽化した認可保育園の改築等に併せた定員の拡大や既存園の定員の見直しを行います。	認可保育園62所 定員 5,413人 (平成24年4月1日 現在)	認可保育園62所 定員 5,424人	認可保育園63所 定員 5,531人 (平成25年4月1日 現在)	○	認可保 育園 62 所 定員 5,540人
	1-1-2 認可保育園の増設	区有地や区施設等を活用し、認可保育園の整備を図ります。	保育室から認可保 育園への転換に向 けた検討・調整 新規保育園開設に 向けた施設整備・ 運営に関する提案 公募選定	推進	認可保育園の開 設 1所 新規保育園開設に 向けた施設整備・ 運営に関する提案 公募選定	◎	新設 3所
	1-1-3 認証保育所の増設	都独自の設置基準による東京都認証保育所の設置により、区民の多様なニーズに応え、待機児童解消を図る。また、都と区が連携し運営指導を行い、事業者に対し開設時経費及び運営費の補助、保護者に対し保育料の補助を行うことにより、認証保育所の保育サービス水準の維持向上に努めます。	認証保育所 19所 定員622人	認証保育所 20所	認証保育所 20所 定員655人	◎	認証保 育 所 18 所 定員 569人 (25年 度 目標)
	1-1-4 杉並区保育室・グ ループ保育室等の整 備・実施	待機児童の緊急対策として、区が設置する保育室を整備し、待機児童の解消を図ります。	区立保育室 整備 直営型 1室(50人) 委託型 3室(116人) 累計 直営型 7室(188人) 委託型 10室(341人) グループ保育室 累計2室(定員45人)	区立保育室 整備 委託型 1室 グループ保育室 累計2室(定員45人)	区立保育室 整備 委託型 1室(30人) 累計 直営型 7室(188人) 委託型 10室(336人) グループ保育室 累計2室(定員45人)	◎	区保育 室 13所 定員351 人 グループ 保育室 3所

計画	事業名	事業内容	23年度	24年度		事業 達成度	26年度末 目標値
			実績	計画	実績		
	1-1-5 家庭福祉員(保育ママ)制度の充実	保護者の就労等により昼間家庭で保育することができない乳幼児を家庭福祉員が自宅等で保護者に代わって保育します。	家庭福祉員 17人	家庭福祉員 32人	家庭福祉員 22人	△	家庭福祉員 16人
	1-1-6 育児休業取得の支援・入所予約制度の実施	出産後に仕事の継続を希望する保護者が、計画どおり育児休業を取得できるように、育児休業者に対する入所予約制度を早期に実現し、年度当初の保育園待機児童の減少を図ります。 ※待機児童が解消に至っていない現状では、入所予約制度を実施することは難しいため、本計画から外すこととなりました。	—	—	—	●	—
	1-1-7 私立幼稚園の預かり保育の推進	保育を必要としている園児に対して適切な保護を行い、幼稚園教育の振興と保育所等の待機児童の解消を図ることを目的として、杉並区私立幼稚園長時間預かり保育事業を行う区内私立幼稚園に対して、算定基準に基づき補助金を交付しています。	定員40人	定員50名	定員90名	◎	推進 定員 347人
	1-1-8 区立幼稚園の新たな幼保一体化施設「子供園」への転換	区立幼稚園について、「区立幼稚園の改革方針」(平成21年9月策定)に基づき、保護者の就労形態にかかわらず就学前の子どもを一体的に受け入れる、区独自の幼保一体化施設である「子供園」として、地域の実情等を踏まえながら段階的に移行・転換を図り、保育需要に対応していきます。	実施 3園 定員 60人	実施 4園 定員 123人	実施 4園 定員 123人	◎	6園実施 定員 213人
	1-1-9 学童クラブの充実	学童クラブ需要増に伴う待機児童の解消に向けて、小学校の余裕教室や公共施設を活用した学童クラブの増設や移転等の整備を図るとともに、民間学童クラブへの支援を行います。また、「放課後子ども教室」との連携を図るなど、放課後における児童の安全・安心な居場所づくりを地域の力を活用して築きます。	登録児童数 3,178人 設置クラブ 49所	登録児童数 3,414人 設置クラブ 49所	登録児童数 3,207人 設置クラブ 49所	○	登録児童数 3,605人 設置クラブ 57所

計画	事業名	事業内容	23年度	24年度		事業 達成度	26年度末 目標値
			実績	計画	実績		
2 保育の質の向上	1-2-1 (仮称)保育プログラムの策定	区立保育園で実施してきた、乳幼児期の「生きる力、学ぶ喜び(好奇心・探究心・思考力)」を育む保育を体系化した保育実践方針を策定し、各保育施設で活用し、更なる保育の質の向上を目指します。	所轄の各保育施設及び保育課内に配布	「保育実践方針」を各保育現場で広く活用し、深く浸透させる。	保育実践方針を実施してさらなる保育の質の向上を図る。	○	実施
	1-2-2 就学前教育振興ビジョンの策定・子供園育成プログラムの推進	区立子供園における幼児育成方針である「育成プログラム」の実施により、幼児教育の充実を図るとともに、家庭教育を含めた0歳から就学前までの幼児の発達段階に応じた幼児教育・保育のあり方を明らかにし、区としての総合的な取り組みを推進するため、教育委員会と連携し「就学前教育振興ビジョン」を策定します。	検討・推進	検討・策定 推進	検討・策定 推進	◎	推進
	1-2-3 保育に関する基準・費用負担のあり方の検討	○保育所入所を希望する乳幼児のうち、保育を必要とする乳幼児の入所を実施します。 ・保育所入所の申込みの受付、調査等を行い、選考会議で入所児童を決定します。 ・入所児童に対し、保育料を賦課・収納、滞納整理、保育実施要件の確認審査を行います。	検討	検討	検討	○	実施
	1-2-4 認可保育園の耐震化・耐震対策の推進	区が作成する耐震化プログラムに基づき、認可保育園の耐震化を図ります。	阿佐谷南保育園 耐震工事の設計・ 施工 堀ノ内東保育園 東京都と耐震工事 計画等の調整	耐震工事の設計・ 施工 東京都との調整	阿佐谷南保育園 耐震工事完了 堀ノ内東保育園 東京都と耐震工事 の設計・施工	○	推進

		事業内容	23年度	24年度		事業 達成度	26年度末 目標値
			実績	計画	実績		
3 多様な保育サービスの展開	1-3-1 延長保育実施園の拡充	保護者の就労時間の多様化や通勤事情に対応した保育サービスを確保するため、延長保育を区立保育園で実施しています。また急な残業などに対応するため、1日単位で子供を預かる延長スポット保育の充実を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 区立保育園 新規2園実施 (累計40園) 私立保育園 累計11園 	区立保育園での新規実施について検討	<ul style="list-style-type: none"> 区立保育園 新規実施なし (累計40園) 私立保育園 累計12園 	△	累計 44園
	1-3-2 病児・病後児保育の充実	病気やケガの安定期から回復期までで通園が困難な時期の乳幼児と保護者が対象です。医療機関に付設された専用スペースに、看護師と保育士を配置した施設で、病気やケガの病状安定期から回復期の保育を行います。	病児保育 累計 1所	病児保育 累計 1所	病児保育 累計 1所	◎	病児 保育室 2所 病後児 保育室 1所

計画	事業名	事業内容	23年度	24年度		事業 達成度	26年度末 目標値
			実績	計画	実績		
4 仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バ ランス)に向けた取 組を行う企業の普 及促進	1-4-1 子育てを応援する取 組の啓発・促進	子育て期において多様な働き方を選択することができ、男女がともに子育てしやすい環境づくりのため、子育てを応援する企業など、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に向けた取組を行う企業の普及促進に努めます。	企業訪問による 啓発 啓発ポスターの 作成・配布	企業訪問による 啓発 啓発ちらしの 作成・配布	企業訪問による 啓発 啓発ちらしの 作成・配布	◎	実施
	1-4-2 地域貢献活動の推進	企業・事業主が自主的に行っている地域貢献活動等が、より多くの企業・事業主に広がるように推進します。	表彰式実施 啓発冊子作成	表彰式実施 啓発冊子作成	表彰式実施 啓発冊子作成	◎	実施
	1-4-3 子ども・子育て優良企 業に対する表彰の実 施	子ども・子育てにやさしい優れた取組を行っている企業・事業主を表彰するとともに、そのような取組が広がるように、企業・事業主に対して働きかけます。	表彰式実施 啓発冊子作成	表彰式実施 啓発冊子作成	表彰式実施 啓発冊子作成	◎	実施
	1-4-4 企業向け講座等の実 施	男女平等や男女共同参画についての理解を深め、男女共同参画行動計画でも目標としているワーク・ライフ・バランスの推進に努めていきます。	啓発講座の実施 1回	啓発講座の実施 1回	啓発講座実施 1回	◎	実施

推進プラン 2 子育て家庭や地域の子どもを育てる力を応援します

計画	事業名	事業内容	23年度	24年度		事業 達成度	26年度末 目標値
			実績	計画	実績		
1 子育てを地域で支え合うしくみづくりの推進	2-1-1 子育て応援券事業の推進	○乳幼児のいる子育て家庭が、子育て応援券でサービスを利用することで、地域の中でいろいろな人と関わりながら安心して子育てができるようにします。 ○子育て支援サービスを提供する事業者を増やし、地域に子育てを応援する人を増やします。	サービス提供事業者数 854 応援券交付(購入)者率 48.1%	サービス提供事業者数 1,050 応援券交付(購入)者率 50.0%	サービス提供事業者数 882 応援券交付(購入)者率 41.7%	○	推進
	2-1-2 子育てサイトの充実	子どもが自らの可能性を広げ、存分にその力を発揮でき、子育て家庭が子育ての楽しさや幸せを実感でき、子ども・子育て家庭を温かく見守り、力強く応援する新しい地域社会をつくります。 インターネットの活用により、子育てに関するサイトを区民とともに運営します。	サイト掲載情報 毎月更新 特集 隔月更新 すぎラボ特集 毎月更新	サイト掲載情報 毎月更新 特集 隔月更新 すぎラボ特集 毎月更新	サイト掲載情報 毎月更新 特集 隔月更新 すぎラボ特集 毎月更新	○	充実
	2-1-3 地域の子育て応援者の育成と親育ちの支援	乳幼児親子や、子育てを応援している団体、企業などが集い、知り合い、つながりあうきっかけとなるよう、「すぎなみ子ども・子育てメッセを開催しています。	平成24年2月19日(日)開催 来場者 2,900名 参加団体 83(協賛を含む)	平成25年3月10日(日)開催 来場者 3,000名 参加団体 83(協賛を含む)	平成25年3月10日(日)開催 来場者 2,900名 参加団体 81(協賛を含む)	○	開催1回・参加団体拡充
	2-1-4 地域子育てネットワーク事業の充実	「出会い、ふれあい、支えあい」を合言葉に、地域の課題やニーズに合わせた講演会やまつり等の事業により世代を超えた区民の交流を図り、子育て家庭を支援します。また、行政機関や地域団体等との連絡会を開催し、地域で子育て家庭を見守り、支援していくネットワークの強化に努めます。	ネットワーク事業 参加者数 92,872人	ネットワーク事業 参加者数 106,500人	ネットワーク事業 参加者数 100,015人	◎	117,000人

計画	事業名	事業内容	23年度	24年度		事業 達成度	26年度末 目標値
			実績	計画	実績		
	2-1-5 地域運営学校(コミュニティ・スクール)の拡充	保護者や地域住民などが、合議制の機関である学校運営協議会を通じて、一定の権限と責任を持って学校運営に参画する「地域運営学校(コミュニティ・スクール)」を指定し、地域に関かれ、信頼される学校づくりを目指します。	新規 3校 累計 12校	新規 3校 累計 15校	新規 2校 累計 14校	◎	推進
	2-1-6 学校支援本部設置支援・拡充	学校と地域の連携体制の構築を図るため、「学校支援本部」の設置を支援していくとともに、学校サポーター、学生ボランティア、外部指導員など地域人材の発掘・育成に取り組んでいきます。	全校	全校	全校	◎	全校
	2-1-7 地域教育推進協議会の設置	0歳から15歳までの子どもの育成や教育をコミュニティの問題として考え、「学校」、「家庭」、「地域」が責任をも分担し合って、子どもたちが生きる力と豊かな心をはぐみながら健やかに育つ、活力あるまちを実現するための組織です。	設置 (モデル地区1所)	新規設置1所 (モデル地区2所)	設置 (モデル地区1所)	◎	設置地区 の拡大

計画	事業名	事業内容	23年度	24年度		事業 達成度	26年度末 目標値
			実績	計画	実績		
2 親のつながりづくり と学びあいの推進	2-2-1 乳幼児親子のつどい の場の充実	核家族化や地域の人間関係の希薄化等により、精神的にゆとりをもって子育てできる環境が求められています。親子の居場所や地域の仲間作りができる場として、つどいの広場を身近な地域に設置します。児童館ゆうキッズ事業では乳幼児のくつろぎの居場所として、親子で楽しめるプログラムや行事、講演会や相談活動を実施し、子育てを通じたつながりを作ります。 ※()内数値は、地域子育て支援拠点事業の箇所数	運営費補助 従事者研修実施 2回 ゆうキッズ事業 児童館41所	運営費補助 従事者研修実施 2回 ゆうキッズ事業 児童館41所	運営費補助 従事者研修実施 2回 ゆうキッズ事業 児童館41所	◎	つどいの 広場 5所(5所) ゆうキッ ズ事業 児童館 41所 (19所) (計24所)
	2-2-2 「家庭学級」を通した 親の学び合いの場の 提供と支援	地域の豊かな関係づくりを目指すため地域団体が企画する、家庭教育をテーマとした講座を共催します。	21講座	30講座	11講座	△	実施
	2-2-3 父親の家事・育児講 座の実施	児童館等で父親を対象とした事業を実施し、親子同士の交流や親子で共通の体験をすることを通し、父親が育児に参加するきっかけを作ります。	78回	拡充	105回	◎	拡充

計画	事業名	事業内容	23年度	24年度		事業 達成度	26年度末 目標値
			実績	計画	実績		
3 地域の子育て支援者の育成	2-3-1 すぎなみ地域大学の 子育て支援講座の充 実	すぎなみ地域大学で実施している子育て支援講座をより実践的な内容に工夫し、受講後に様々な場で子育て支援活動の担い手として主体的に活動できる人材を育成します。また、受講者のニーズに合った活動ができるよう支援します。	地域で子育て支援講座 開催・運営	地域で子育て支援講座 開催・運営	地域で子育て支援講座 開催・運営	◎	充実
	2-3-2 子育て支援者のスキ ルアップ研修の実施	地域において、子育て支援の担い手となっている区民に対し、子育て支援活動の実践的なスキルを学ぶ機会を提供し、子育て家庭とのより良好な関係づくりを支援します。	スキルアップ研修 の実施	スキルアップ研修 の実施	スキルアップ研修 の実施	◎	充実
	2-3-3 区民・NPO等の自主 的活動の支援とネット ワークづくり	児童館などにおける子育て支援グループの育成、支援の中で、区民の特技等を活かしたプログラムが実施できる機会をつくり、企画や活動へのアドバイスを行うことで、グループづくりや自主的活動を支援していきます。地域の中で、連携・協働が進められるよう、子育て支援のネットワークづくりを推進します。	児童館ボランティア 1096件 母親クラブ活動費助 成14団体	充実	児童館ボランティア 1279件 母親クラブ活動費助 成13団体	○	充実
	2-3-4 家庭教育フォーラムの 開催	家庭教育・子育てに関わる団体が、地域で取り組む様々な活動や事業の質を高めるため、専門家の話を聴講したり、「家庭学級」の開催状況を含め、団体同士で情報や意見を交換しながら、団体の力量形成を図るため開催しています。	1回	1回	1回	◎	実施

計画	事業名	事業内容	23年度	24年度		事業 達成度	26年度末 目標値
			実績	計画	実績		
4 安心して子育てが できる生活環境の 整備	2-4-1 授乳・おむつ替えので きる施設の整備	お店や病院、区立施設などで授乳やおむつ替え・休憩が できる施設の情報を「いってきまっぷ」に掲載し、外出の安心 感を高め、まち全体で子育てを支援します。	「いってきまっぷ」 掲載 33施設 (新規3件)	実施	「いってきまっぷ」 掲載 35施設 (新規2件)	○	推進
	2-4-2 バリアフリー協力店の 普及・啓発	障害者や高齢者、子ども連れの方や妊娠している方など、 すべての人に使いやすく、わかりやすい対応ができるお店 を「バリアフリー協力店」として登録していただき、店舗数拡 大・情報提供をすることで、外出しやすいまちを目指しま す。	597店舗	900店舗	776店舗	○	1000 店舗
	2-4-3 駅周辺の整備	駅を中心とした市街地において、鉄道事業者などと協力 し、駅前広場や南北自由通路の整備、バリアフリー化を推 進し、安全性を高め快適で便利な交通機能を確認します。	・荻窪駅 西口バリアフ リー整備完了 ・高円寺駅 南北駅前 広場接続道路整備完 了	・JR荻窪駅西口改札と JR快速線を結ぶエレ ベーターの設計完了	・JR荻窪駅西口改札と JR快速線を結ぶエレ ベーターの設計完了	◎	推進
	2-4-4 街路灯の整備	区道に街路灯を設置するとともに、老朽化した危険な街 路灯の計画的な改修、照度向上のための器具の交換等を行 い、交通安全と防犯対策を進めます。	区道新設数 27灯	30灯	32灯	◎	推進

計画	事業名	事業内容	23年度	24年度		事業 達成度	26年度末 目標値
			実績	計画	実績		
	2-4-5 区営住宅入居の優遇 抽せん制度の推進	ひとり親世帯、多子世帯などに対し、区営住宅の入居の抽せんの際、抽せん番号を5個付与し当選する確率を高め、子育て世帯が入居しやすいようにしています。	優遇抽せん制度を実施	優遇抽せん制度を実施	優遇抽せん制度を実施	○	推進
	2-4-6 学校の危機・安全対策の拡充	不審者対策等、学校の危機管理体制を強化するため、学校、地域、警察等関係機関との連携、学校安全支援隊の設置を行っています。	学校安全支援隊活動 11校 延べ2,038日	推進	学校安全支援隊活動 11校	◎	推進
	2-4-7 通学路の子どもの見 守りや犯罪発生情報 のメール配信の推進	・巡回安全パトロールの実施 杉並区安全パトロール隊(平日8:20~17:15) 区委託民間警備会社(24時間365日) 区内地域防犯自主団体(随時) 子ども安全ボランティア(随時) ・犯罪発生情報の配信 子ども見守り情報(子ども安全に関わる事件の発生時)	見守り 145団体 (うち助成対象16団 体) 「子ども安全ホランテ ィア」登録数 11,601人 情報配信 55件	見守り 148団体 「子ども安全ホランテ ィア」登録数 12,000人	見守り 147団体 (うち助成対象31団 体) 「子ども安全ホランテ ィア」登録数 11,523人 情報配信 36件	◎	推進
	2-4-8 小児救急医療体制の 確保	平日夜間・休日における小児科の急病診療を実施する協力病院を確保し、休日等夜間急病診療所・休日当番医と併せ、小児救急医療の提供体制を確保します。	小児急病診療協 力医療機関 2機関	小児急病診療協 力医療機関 2機関	小児急病診療協 力医療機関 2機関	◎	推進

計画	事業名	事業内容	23年度	24年度		事業 達成度	26年度末 目標値
			実績	計画	実績		
	2-4-9 小児救急相談の充実	小児急病相談や医療機関案内を行い「急病医療情報センター」事業を実施します。また、子どもの急病・誤飲に関する小冊子を就学前の子どもを持つ家庭へ配布するほか、小児急病に関する講演会を開催し、救急対応の知識の普及・啓発を図ります。	急病医療情報センター 1所 小児急病対応・誤飲処置の冊子配布 4,300部 小児急病に関する講演会 10回	急病医療情報センター 1所 小児急病対応・誤飲処置の冊子配布 4,300部 小児急病に関する講演会 10回	急病医療情報センター 1所 小児急病対応・誤飲処置の冊子配布 4,450部 小児急病に関する講演会 10回	◎	推進
	2-4-10 かかりつけ医・歯科医・薬局の促進	子どもも大人も、身近な地域で日ごろから相談ができる、かかりつけ医・歯科医・薬局の普及・啓発を図ります。 ※杉並区医師会の協力のもと、事業展開してきたかかりつけ医については、医師会への相談件数の減少により事業を廃止しました。かかりつけ歯科医については、運営主体を歯科医師会に移行した歯科保健医療センターにおいて、前年度に引き続き、紹介・相談事業を行い、日ごろから相談できる、かかりつけ歯科医の普及・啓発を図りました。	かかりつけ歯科医を持つ区民の割合 65.6%	かかりつけ歯科医を持つ区民の割合 70.0%	かかりつけ歯科医を持つ区民の割合 62.1%	○	推進

推進プラン 3 ニーズに応じたきめ細やかな子育て支援サービスを充実します

計画	事業名	事業内容	23年度	24年度		事業達成度	26年度末目標値
			実績	計画	実績		
1 妊娠・出産期からの 親子の健康支援	3-1-1 妊婦健康診査の充実	妊娠早期から定期的に妊婦健診を受診できるよう、妊婦健康診査受診票及び超音波検査受診票(35歳以上)を交付して、安全・安心な妊娠・出産を支援します。また、母親学級と同日に、口腔内診査を実施し、歯科保健指導を行います。 健診費用の一部を受診票により公費で負担し、出産にかかる経済的な負担を軽減します。助産院や里帰り(他府県)の健診費用についても、一部を助成します。	受診件数 48,784件 償還払い 5,290件	充実	受診件数 50,694件 償還払い 5,484件	◎	充実
	3-1-2 出産準備教室の充実	地域で安心して出産や育児ができるよう、正しい知識の普及、仲間づくり、地域の子育て情報の紹介を行う母親学級を開催します。 また、父親の育児参加の動機付けを行い、両親で協力して子育てができるよう、平日及び休日にパパママ学級を開催します。	母親学級(3日制) 36回 平日パパママ学級 24回 休日パパママ学級 40回	充実	母親学級(3日制) 36回 平日パパママ学級 24回 休日パパママ学級 42回	◎	充実
	3-1-3 すこやか赤ちゃん訪問事業の実施	赤ちゃんが生まれたすべての家庭を生後4か月までに訪問し、赤ちゃんの発育状態や母親の心身の健康状態についての相談・指導を行うとともに、地域の子育て情報を提供します。	訪問数 4060件 (対象数 4107件)	赤ちゃんが生まれた 全家庭へ訪問	訪問数 4141件 (対象数 4162件)	◎	赤ちゃんが 生まれた全 家庭数
	3-1-4 乳幼児健康診査の充実	乳幼児の疾病や発達の遅れ等を早期発見し、保護者に対して適切な指導や必要な育児支援を行い、保護者の育児不安を軽減するために乳幼児健康診査を実施します。	受診率 93.4%	受診率 94%	受診率 94%	○	受診率 95%

計画	事業名	事業内容	23年度	24年度		事業 達成度	26年度末 目標値
			実績	計画	実績		
	3-1-5 乳幼児歯科健康診 査・相談の充実	生涯を通じた歯と口の健康づくりの観点から、乳幼児の 歯科健康診査・歯科相談を行います。	受診率 95.5%	受診率 95%	受診率 96.7%	◎	受診率 95%
	3-1-6 育児相談・講習会の 充実	保健センターにおいて、育児不安が大きい低月例児を持 つ保護者が利用しやすい形態で育児相談日を設け、保護 者の育児不安の軽減を図り、地域の子育て情報の提供や 情報交換を行います。 また、離乳食講習会は月例に応じて実施し、乳幼児の健 やかな成育のための支援を行います。	育児相談 60回 離乳食講習会 60回	充実	育児相談 60回 離乳食講習会 57回	○	充実
	3-1-7 安心して妊娠・出産が できる環境づくり	子どもを望んでいるにもかかわらず、不妊に悩む夫婦に 対し、経済的負担の大きい特定不妊治療(体外受精及び顕 微授精)費の一部を助成します。 また、不妊相談体制の整備を図ります。	特定不妊治療費 の助成 250件 12,018 妊娠を望む方の基 礎講座 8回 11人 不妊専門相談 8回 79人	助成件数 600件 妊娠を望む方の基礎 講座 12回 不妊専門相談12回 グループカウンセリ ング12回	助成件数 463件 妊娠を望む方の基礎 講座 8回104人 不妊専門相談8回 11人 グループカウンセリ ング8回11人	○	充実

計画	事業名	事業内容	23年度	24年度		事業 達成度	26年度末 目標値
			実績	計画	実績		
2 身近な地域で利用 できるサービスの充 実	3-2-1 ひととき保育等、一時 預かりの充実	保護者の通院や育児疲れの解消等、すべての子育て家庭 が安心してゆとりのある子育てができるよう、子どもを預る ひととき保育や子育てサポートセンターなどの一時預かり を身近な場所に設置し、充実します。	ひととき保育11所	ひととき保育11所	ひととき保育11所	○	充実
	3-2-2 緊急一時保育の実施	保護者が病気や出産などで一時的に子どもの保育ができ なくなったとき、保護者に代わって区立保育園(指定管理 保育所を除く)が定数外で子どもを受託し保育する制度です。 対象は、区内に住む生後4か月～小学校就学前の健康な 子どもで、原則として、保育時間は午前8時30分から午後5 時までです。期間は最長1か月以内です。	区立保育園 全園実施	区立保育園 全園実施	区立保育園 全園実施	◎	実施
	3-2-3 ふれあい保育	子育て中の保護者の育児相談に応じたり、親子で保育園 体験ができる「ふれあい保育」を行います。	区立保育園 全園実施	区立保育園 全園実施	区立保育園 全園実施	◎	実施
	3-2-4 育児相談	子育てサポートセンターでは、育児講座や来所、電話な どの育児相談を活用しながら、育児負担の軽減をしていき ます。 また、区立保育園全園でも育児相談を行なうことで、保護 者の育児負担の軽減や子どもの健やかな成長を支援しま す。	区立保育園 全園実施 子育てサポート センター 5所	区立保育園 全園実施 子育てサポート センター 5所	区立保育園 全園実施 子育てサポート センター 5所	◎	実施

計画	事業名	事業内容	23年度	24年度		事業 達成度	26年度末 目標値
			実績	計画	実績		
	3-2-5 ファミリー・サポート・ センター事業の充実	区民同士の相互援助活動を支援することにより、区民の交流を進め、安心して子育てができる地域を目指します。 子育て支援が必要な区民(利用会員)と支援ができる区民(協力会員)の相互援助活動を行う会員組織を、杉並区社会福祉協議会に委託して運営します。	会員数 1,484 人《内訳》 利用会員 1,079 人 協力会員 393 人 利用・協力会員 12 人	充実	会員数 1,570 人《内訳》 利用会員 1,176 人 協力会員 387 人 利用・協力会員 7 人	○	充実
	3-2-6 産前産後支援ヘル パー派遣の充実	育児や家事を手伝い、子育ての助言や助言や相談にのる事で、肉体的・精神的に母親を支え、安心して育児が出来るようヘルパーを派遣します。	産前ヘルパー派遣 13世帯 産後ヘルパー派遣 118世帯	産前ヘルパー派遣 20世帯 産後ヘルパー派遣 200世帯	産前ヘルパー派遣 23世帯 産後ヘルパー派遣 182世帯	○	充実

計画	事業名	事業内容	23年度	24年度		事業 達成度	26年度末 目標値
			実績	計画	実績		
3 子育てに伴う経済 的支援	3-3-1 「子ども手当」の支給	次世代の社会を担う子ども一人ひとりの育ちを応援することを目的に、15歳に達した最初の3月31日までの児童を養育する者に子ども手当を支給します。	※子ども手当 年度末対象 児童数 53,928人	年度末対象 児童数 53,928人	年度末対象 児童数 53,411人	◎	実施
	3-3-2 乳幼児及び義務教育 就学児医療費助成	乳幼児等を養育する者に、当該乳幼児等の医療費の自己負担分を助成することにより、乳幼児等の健全な育成及び保健の向上に寄与するとともに、児童福祉の増進を図ります。	年度末助成 対象児童数 55,005人	対象児童数 55,038人	年度末助成 対象児童数 55,777人	◎	実施

推進プラン 4 子どもの自立を促し社会参画を進めます

計画	事業名	事業内容	23年度	24年度		事業 達成度	26年度末 目標値
			実績	計画	実績		
1 青少年の自立支援 の推進	4-1-1 青少年の自立支援や 体験のための場の設 置	様々な悩みや問題を抱えながら、解決する場のない中・高校生世代に対して、自立支援や体験のための場を設置します。個別の面接相談や生活自立支援、就学支援、就労支援を行うとともに、保護者の相談や親同士が交流できる場の提供、自主性・社会性を育てる社会体験ができる場の提供など、自立支援に向けた事業を展開していきます。 ※新基本構想等の策定後、これを受けて検討を開始する方向に事業目標を変更しました。	—	—	—	●	—
	4-1-2 青少年の社会参加・ 参画の推進	青少年の主体性や社会性を育み、社会参加や参画を促進する取り組みとして、「ユースプロジェクトすぎなみ」の活動を推進します。青少年が区の施策に関する提案をしたり、自ら企画・運営する新たな事業を地域の人と協力して展開していけるよう支援します。	ユースプロジェクト委員会 36回 オーダーメイドスクール企画・運営 中高生との意見交換 1回	ユースプロジェクトすぎなみ委員会 月2回程度 中高校生の意見交換会 1回	ユースプロジェクトすぎなみ委員会 28回 中高校生の図書館利用に係る提案発表会 1回	○	充実
	4-1-3 児童青少年センター (ゆう杉)自主企画実 現システムの推進	ゆう杉並において中高生が講座やイベント等を企画し、区がその企画実現を支援する「自主企画実現システム」を活性化させ、利用者自身が企画立案から実施まで行う事業の数を増やしていきます。自主活動グループ(登録団体)つくりを支援し、中高生世代の利用回数を増やしていきます。	26事業	27事業	25事業	○	30事業
	4-1-4 児童館における自主 的活動の支援	子どもたちの発想や意見を尊重したプログラムを実施し、企画、準備、運営を経験する機会を提供することにより、子供たちの自主性、社会性、創造性を培います。	全41児童館 実施	全41児童館 実施	全41児童館 実施	◎	実施

計画	事業名	事業内容	23年度	24年度		事業 達成度	26年度末 目標値
			実績	計画	実績		
	4-1-5 ジョブスタート支援事業の充実	就労に向けた支援をするため、社会に出る前の段階からいろいろな人との出会いを経験し、自ら考えて実際に行動するような体験を提供する講座を実施します。また、自立を必要としている青少年に、保護者を通して情報が届くよう、保護者向けの講演会を実施します。	仕事に関するアンケート 区内16校 4296件 高校教諭アンケート 区内15校139件	仕事に関するアンケート 区内16校 体験講座の実施	仕事に関するアンケート 区内16校 起業体験講座の実施 1回	◎	拡充
	4-1-6 児童青少年センター(ゆう杉)中・高校生世代の自主性・社会性・創造性の育成支援	将来の進路や職業選択を支援するハローワーク事業、地域での活動の場の紹介、イベントの企画運営等の活動を通して、中・高校生世代の社会適応能力を高めます。	ハローワーク事業 2回	ハローワーク事業 6回	ハローワーク事業 7回	◎	ハローワーク事業 8回
	4-1-7 中学生レスキュー隊の活動推進	区立中学校において、生徒会活動や部活動として生徒の有志により編成するもので、救命救急技術をはじめ災害時に役立つ知識、技能を身につける活動を通して、防災意識や地域社会等に貢献しようという意識等を高めることを目的としています。	全校 (23校)	全校 (23校)	全校 (23校)	◎	推進
	4-1-8 親子環境学習の推進	次代を担う子どもたちが環境に配慮した行動がとれるよう、小学生親子を対象に体験型の教室を実施します。 ※同種の事業をすぎなみ環境情報館の受託団体であるNPO法人でも実施していることから、すぎなみ環境情報館事業に統合することとした。このような状況の中、区主催の講座を開催することの必要性が無いため、平成23年度から中止した。	—	—	—	●	—

計画	事業名	事業内容	23年度	24年度		事業 達成度	26年度末 目標値
			実績	計画	実績		
2 健やかな心身の発 達の支援	4-2-1 幼小連携教育の推進	子供園・幼稚園や保育園における就学前教育と、小学校における学校教育との連続性を考慮した連携を進めることで、幼児教育から学校教育への円滑な移行を図るとともに、より効果の高い教育活動を推進します。	幼小連携教育モデル事業 9校・9園実施	幼小連携教育モデル事業 9校・9園実施	幼小連携教育モデル事業 9校・9園実施	◎	充実
	4-2-2 豊かで多様な遊び体験の場の提供	全児童館、料理・工作・スポーツ・野外活動・宿泊行事・高齢者との交流・伝統行事・障害児交流事業など多彩な活動を行い、交流と豊かな経験の機会を提供しています。地域児童館7館に中高生委員会を設置し、委員会活動や自主企画事業実施を援助しています。	全児童館41館で実施 9472事業	全児童館41館で実施 11,300事業	全児童館41館で実施 11,715事業	◎	全児童館41館 で実施 11,500 事業
	4-2-3 中・高校生と赤ちゃんふれあい事業の推進	赤ちゃんとおふれ合うことで、他者への関心や赤ちゃんへの愛着感情を醸成し、将来の子育ての予備的な体験となる「中・高校生と赤ちゃんふれあい事業」を児童館が中心になって推進します。	7児童館	9児童館	10児童館	◎	10 児童館
	4-2-4 思春期サポート事業の充実	自己肯定感を育むための冊子を作成し、区内の中学2年生全員のほか、高校や医療機関等へも配布します。また、心と体の悩みに対する講座や、中・高校生世代が身近な人生の先輩でもある大学生と気軽に話せる機会を提供し、思春期の不安定な時期をサポートします(スペースピア)。	冊子編纂会議実施配布部数5000部 スペースピア事業 月3回 31回実施延412人	冊子編纂会議実施配布部数5000部 スペースピア事業 月3回 35回実施	冊子編纂会議実施配布部数5000部 スペースピア事業 月3回 31回実施延380人	○	実施

計画	事業名	事業内容	23年度	24年度		事業 達成度	26年度末 目標値
			実績	計画	実績		
	4-2-5 未成年者の飲酒・喫煙・薬物乱用防止対策の推進	未成年者・保護者及び関係者に対して、飲酒・喫煙・薬物乱用防止の普及啓発を行い、未成年者が飲酒・喫煙・薬物の乱用をしないようにします。小学5年生から中学3年生を対象に喫煙防止ポスター・標語を募集し、優秀作品を表彰するほか、講演会の開催、学校、保健センターへ教材・普及啓発用品の作成・配布を行います。	普及啓発の実施	普及啓発の実施	普及啓発の実施	○	実施
	4-2-6 食育の推進	学校における健康づくりや食育を推進するため、研修を実施するなど児童・生徒が生涯を通じて健康で安全な生活を送ることができるようにします。	食育リーダー研修の実施(1回) 食器の充実(5校) 食育教材作成(そしゃく器の購入)	食育リーダー研修の実施(3回) 食器の充実(3校) 食育教材開発	食育リーダー研修の実施(3回) 食器の充実(3校) 食育教材開発(購入)	◎	推進

計画	事業名	事業内容	23年度	24年度		事業 達成度	26年度末 目標値
			実績	計画	実績		
3 子どもの居場所づくりの推進	4-3-1 放課後の身近な遊び場としての児童館の充実	児童館が放課後の身近な遊び場として、楽しく魅力ある居場所となるように、子供たちの発想や意見を尊重したプログラムを展開していきます。また、安全に過ごせる場として、建物・遊具の点検や災害・不審者を想定した対策を計画的に行います。	全41児童館 実施	全41児童館 実施	全41児童館 実施	◎	充実
	4-3-2 学校施設を利用した居場所づくりの推進	土曜日や放課後に子どもたちが地域の中で様々なことに挑戦・体験ができるよう、学習やスポーツ等の機会と安全な居場所を提供する「土曜日学校」や「放課後子ども教室」を推進します。	土曜日学校 小学校 28校 中学校 15校 放課後子ども教室 小学校14校	推進	土曜日学校 小学校 26校 中学校 15校 放課後子ども教室 小学校14校	○	推進
	4-3-3 中高生世代の居場所機能の充実	児童青少年センター(ゆう杉並)を利用する中・高校生世代で構成された利用者懇談会(*)を中心に、中・高校生世代の利用者の声を直接運営に反映するシステムを構築します。安全・安心で利用しやすい施設にするための環境を整備し、利用者のニーズに合った各種講座やイベントの充実を図ります。また、不登校や引きこもり等の問題を抱える中・高校生世代の利用者が、同世代の様々な価値観を持つ仲間と交流できる場所としての機能を、関係機関と連携しながら充実していきます。(*)ゆう杉並を利用する中・高校生世代がスポーツ、音楽、ダンス等の分野別に行う懇談会。事業や施設の使用ルール、物品に対する意見・要望をまとめて区に提案する役割を担う。	利用者懇談会 職員企画9回 中高生運営委員 会企画8回	利用者懇談会 職員企画5回 中高生運営委員 会企画3回	利用者懇談会 職員企画10回	○	充実 利用者懇 談会 8回
	4-3-4 児童館の役割・機能等の検証・充実	児童館がこれまで担ってきた子どもの健全育成の役割をはじめ、「児童館等のあり方検討会報告」等に基づき取り組まれてきた各種の事業などを評価・検証のうえ、児童館を取り巻く環境変化等を踏まえた新たな施設・事業展開に係る方針を検討・策定し、段階的に具体化を図ります。 ※新基本構想等の策定後、これを受けて検討を開始する方向に事業目標を変更しました。	—	—	—	●	—

推進プラン 5 特に支援が必要な子どもたちの成長を守ります

計画	事業名	事業内容	23年度	24年度		事業 達成度	26年度末 目標値
			実績	計画	実績		
1 子育てセーフティ ネットの構築	5-1-1 虐待通報・相談支援 体制の充実	虐待通報・相談に対して、迅速かつ的確に対応できるよう、子ども家庭支援センターの組織の強化を図るとともに、保健センター・福祉事務所等が支援する家庭を含め、区全体の児童虐待対策の施策マネジメント機能を持つ組織体制を確立します。	充実	充実	充実	○	充実
	5-1-2 保護者の相談事業の 充実	育児不安が強い、又は虐待について悩んでいる保護者に対し、精神科医師や臨床心理士等による「保護者のこころの相談」、同じ悩みを持つ親のグループで専門家の助言を受け自分自身を振り返る「グループカウンセリング」を保健センターで実施、相談を兼ねて親子で過ごせる「子育てサロン」を子ども家庭支援センターで実施します。	保護者のこころの相談 61回 グループカウンセリング 118回 子育てサロン 140回	保護者のこころの相談 60回 グループカウンセリング 120回 子育てサロン 140回	保護者のこころの相談 61回 グループカウンセリング 120回 子育てサロン 141回	◎	充実
	5-1-3 ゆうライン相談等の充 実	区民が子どもや子育てのことで困ったとき、子ども自身が悩んだとき、身近なところですぐに相談を受け受けます。継続的に相談を受止め専門相談や関係機関連携により、虐待などの早期発見とケースの重篤化を予防します。	充実	充実	充実	○	充実
	5-1-4 要支援家庭への訪問 等の充実	虐待や養育困難、育児不安など、子どもの健全な成長が懸念される家庭に対する見守りと訪問等の支援を行います。また、この訪問を養育支援が特に必要と思われる家庭に対し、要支援家庭育児支援ヘルパー事業としてヘルパー等を派遣して家事援助等を行います。	訪問件数 1,421世帯 3,196件	訪問件数 1,510世帯 3,585件	訪問件数 1,695世帯 3,288件	○	拡充

計画	事業名	事業内容	23年度	24年度		事業 達成度	26年度末 目標値
			実績	計画	実績		
	5-1-5 見守りサポート事業の 充実	○児童相談所が一時保護または施設措置を行った児童 が、家庭復帰した後の家庭への見守り支援を行います。	実施	実施	実施	○	実施
	5-1-6 子どもショートステイ 事業の充実	家族だけでは対応できない緊急時に、宿泊で子どもを預かり、 親の負担軽減と子どもの安定を図ります。 保護者の病気等で一時的に養育困難となった子どもにつ いて、乳児院や児童養護施設への短期間の入所業務を委 託します。	0～1歳 1所 2～12歳 1所	充実	0～1歳 1所 2～12歳 1所	○	充実
	5-1-7 児童虐待防止のため のネットワーク強化	○区民や関係機関からの児童虐待通報を受け、対応しま す。 ○要保護児童対策地域協議会を運営し、代表者会議、実 務者会議、個別事例検討会、研修等を行います。	個別事例検討会 83回 研修の実施 3回	充実	個別事例支援会 議 81回 研修の実施 7回	○	充実

計画	事業名	事業内容	23年度	24年度		事業 達成度	26年度末 目標値
			実績	計画	実績		
2 ひとり親家庭自立 支援の充実	5-2-1 ひとり親家庭相談の 充実	離婚前及び離婚後の相談事業の充実を図り、三箇所の福祉事務所と子ども家庭支援センターで総合的なひとり親家庭の相談にのり、適切なアドバイス及び関係機関に繋ぎ個々に応じた支援を行います。また、ひとり親家庭支援のためのパンフレットを発行し、周知を図ります。	相談件数 2832件	相談件数 3000件 パンフレット発行 (隔年) 3000部	相談件数 2683件 パンフレット発行 (隔年) 3000部	○	充実
	5-2-2 就業支援の充実	ひとり親家庭の親、特に母子家庭の母が、安定した職業に就き、自立できる収入が得られるよう、母子自立支援プログラム策定員がプログラム策定を行い、就労に関する様々なメニューを活用して支援していきます。また、就労に結びつく区の指定した講座及び国家資格が取得できる修学に対して給付金を支給します。	ひとり親自立支援 プログラム策定数 56件 教育訓練給付金 支給 4人 高等技能訓練促 進費 20人 セミナーの開催 2回	ひとり親自立支援 プログラム策定数 70件 教育訓練給付金 支給 4人 高等技能訓練促 進費 17人 セミナーの開催 1回	ひとり親自立支援 プログラム策定数 59件 教育訓練給付金 支給 6人 高等技能訓練促 進費 24人 セミナーの開催 1回	◎	推進
	5-2-3 母子生活支援施設の 整備	子どもの養育が困難な母子家庭ン母親と子どもと一緒に利用できる民間母子生活支援施設に対し、改築費用の助成を行い、母子家庭の安全・安心な生活の場としての機能の充実を図ります。また、配偶者からの暴力を受けた母子世帯の緊急一時保護を行う施設としても活用します。	1所 改築	1所 改築	1所 改築	◎	24年度 竣工
	5-2-4 ひとり親ホームヘル パー派遣の充実	義務教育終了前の子どもがいるひとり親家庭が、就労等何らかの事情で日常生活に支障をきたしている場合に、家事または育児などを支援するヘルパーを必要な範囲で派遣を行います。ひとり親休養ホームの利用料金の一部を助成します。	派遣日数 2584日	派遣日数 2844日	派遣日数 3207日	◎	充実

計画	事業名	事業内容	23年度	24年度		事業 達成度	26年度末 目標値
			実績	計画	実績		
	5-2-5 ひとり親自主グループ の支援	ひとり親家庭同士が、ネットワーク等で繋がり、お互いに励 まし合えたりできるようにします。	イベント回数 2回	イベント回数 2回	イベント回数 2回	◎	推進
	5-2-6 児童扶養手当・児童 育成手当の支給、ひ とり親家庭等医療費 の助成	ひとり親家庭等の子育てに伴う経済的負担を軽減し、児童 の健やかな成長を図るため、児童扶養手当及び児童育成 手当の支給、医療費助成を行います。	年度末 対象者数 児童扶養手当 2,494人 児童育成手当 4,025人 ひとり親家庭等 医療費助成 2,822人	年度末 対象者数 児童扶養手当 2,644人 児童育成手当 3,882人 ひとり親家庭等 医療費助成 2,901人	年度末 対象者数 児童扶養手当 2,650人 児童育成手当 4,001人 ひとり親家庭等 医療費助成 2,768人	◎	実施

計画	事業名	事業内容	23年度	24年度		事業 達成度	26年度末 目標値
			実績	計画	実績		
3 障害のある子ども への発達に応じた 支援の充実	5-3-1 相談・療育機能の 充実	発達に遅れのある区内在住の18歳未満の子どもとその保護者を対象に、専門職による相談(専門相談・医療相談)・指導(言語心理指導・理学療法・作業療法)を行うことにより、対象者の発達全般を促すと共に保護者が障害を正しく理解し適切な対応ができるよう支援します。 保育園・幼稚園を専門職(医師、心理職等)が巡回訪問し、園の職員に対し助言指導を行います。	たんぽぽ園通園児 延べ137人 こども発達セン ター登録児数 909 人	たんぽぽ園通園児 延べ165人 こども発達セン ター登録児数 900 人	たんぽぽ園通園児 延べ180人 こども発達セン ター登録児数 1052人	◎	充実
	5-3-2 発達障害児の支援の 充実	発達障害児専門相談は3~5歳児を対象とし、対人関係や集団の活動が苦手な子の相談に応じます。 専門医師・心理職が診察や検査を通し、こどもの様子を拝見し、指導への橋渡しを行います。 発達障害児グループ指導は社会性やコミュニケーションの発達を促す指導を、小人数のグループで実施します。 心理職2~3名により、区立施設を活用し区内5箇所を実施します。	発達相談 2所 84人 グループ指導 22G 158人 グループ指導延べ 指導件数 1015 件	発達相談 2所 96人 グループ指導 22G 154人 グループ指導延べ 指導件数 1087 件	発達相談 2所 91人 グループ指導 22G 146人 グループ指導延べ 指導件数 989件	◎	充実
	5-3-3 保育園・子供園・幼稚 園等での障害児の受 入・支援の拡大	障害のある子どものために、保育園における障害児保育の充実、子供園・幼稚園での介助員の配置、及び学童クラブでの障害児の受け入れ体制の拡充を図るとともに、保育園・子供園・幼稚園の巡回指導を強化して支援を行ないます。 また、児童館でも発達の遅れや、障害のある子ども達が楽しめるプログラムを工夫し、充実を図ります。	認可保育園55所 (うち障害児指定園6 所) 区立子供園 4所 区立幼稚園 2所 学童クラブ 49所 重度重複障害児受 入 1所 利用促進児童館20 所 巡回指導 充実	認可保育園55所 (うち障害児指定7 所) 区立子供園 4所 区立幼稚園 2所 学童クラブ 49所 重度重複障害児受 入 1所 利用促進児童館20 所 巡回指導 充実	認可保育園55所 (うち障害児指定7 所) 区立子供園 4所 区立幼稚園 2所 学童クラブ 49所 重度重複障害児受 入 1所 利用促進児童館20 所 巡回指導 充実	◎	充実

計画	事業名	事業内容	23年度	24年度		事業 達成度	26年度末 目標値
			実績	計画	実績		
	5-3-4 特別支援教育の推進	<p>障害等のある児童・生徒に必要な教育的支援を行うため、情緒障害学級を増設するとともに、介助員・介助員ボランティア・学習支援教員等、学校への人的支援の充実を図ります。</p> <p>また、就学前機関と教育委員会とが連携し、就学前の支援を特別支援教育に活かしていきます。児童・生徒のライフステージに応じた適切な支援を行うため「個別の教育支援計画」(*)の作成を推進します。</p> <p>※「個別の教育支援計画」→教育上、特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒の一人ひとりのニーズを正確に把握し、適切に対応し、長期的な視点で学校教育機関を通じて、一貫して的確な支援を行うことを目的として策定する計画。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・介助員・介助員ボランティア・学習支援教員の充実 通常学級介助員14人 介助員ボランティア4,857日 ・学習支援教員30人(3114日) ・情緒障害学級6校 ・特別支援教育推進計画の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・介助員・介助員ボランティア・学習支援教員の充実 通常学級介助員14人 介助員ボランティア5,000日 ・学習支援教員20人(3520日) ・情緒障害学級6校 ・特別支援教育推進計画の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・介助員・介助員ボランティア・学習支援教員の充実 通常学級介助員18人 介助員ボランティア5,689日 ・学習支援教員30人(3243日) ・情緒障害学級6校 ・特別支援教育推進計画の推進 	◎	拡充